



資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応

2024年6月28日
レンゴ株式会社
(証券コード:3941)

Index		Page
現状認識	1. レンゴーグループの企業経営	3
	2. 「資本コストや株価を意識した経営」についての当社の認識	4
	3. 時価評価と資本コスト	5
当面の戦略と見通し	1. キャッシュフロー・アロケーション(25/3期)	6
	2. 投資キャッシュフローの内容(25/3期)	7
	3. 資本構成の見通し(25/3期末)	8
今後に向けて	1. 成長戦略の具体化に向けて	9
	2. 配当政策ならびにステークホルダーとの対話の方針	10

1. レンゴーグループの企業経営

1. レンゴーグループの企業経営
2. 「資本コストや株価を意識した経営」についての当社の認識
3. 時価評価と資本コスト

人本主義（人間中心主義）を企業経営の柱に据え、**全要素生産性**の向上を図ることにより生み出される付加価値を従業員に適切に分配し、次の成長につなげる「**成長と分配の好循環**」を持続的に実現するとともに、SDGsを見据え、DXにも積極的に取り組みながら、環境負荷の低減、働き方改革の推進、パートナーシップ構築宣言に基づく適正な取引、法令遵守をはじめとする**ESG経営**をさらに前進させることにより、事業活動を通じて**企業の社会的責任**を果たしてまいります。

2. 「資本コストや株価を意識した経営」についての当社の認識

1. レンゴーグループの企業経営
2. 「資本コストや株価を意識した経営」についての当社の認識
3. 時価評価と資本コスト

資本コストについて

資本コストは企業の投資活動や資金調達に関する指標の一つであり、ステークホルダーの期待収益率として資本コストをとらえ、将来の収益性向上とキャッシュフロー拡大を図ることが企業価値評価の改善につながると考えています。

企業価値評価について

市場からの企業価値評価の基準をPBR等に行っているところがあることは承知していますが、当社としましては、特定の指標に左右されないよう、全体的な視野に立って企業経営を行い、中長期的な企業価値向上に努めます。

3. 時価評価と資本コスト

1. レンゴーグループの
企業経営
2. 「資本コストや株価を意
識した経営」についての
当社の認識
3. 時価評価と資本コスト

時価評価と資本コスト (24年3月期末ベース)

時価総額	3,171 億円
株価	1,170 円
純資産	4,390 億円
PBR(時価純資産倍率)	0.7 倍
ROE(自己資本利益率)	8.3 %
株主資本コスト*	4.4 %

* 株主資本コストの計算(CAPMに基づく)

$$\begin{array}{ccccccc} 0.73 & & 0.66^{(注1)} & & 5.63^{(注2)} & & 4.42 \\ \text{リスクフリーレート} & + & \text{ベータ}(\beta) & \times & \text{リスクプレミアム} & = & \text{株主資本コスト} \\ \text{無リスク資産の金利} & & \text{TOPIXに対する} & & \text{リスク資産(株式)投資} & & \\ \text{(10年国債利回りを設定)} & & \text{当社株価の感応度} & & \text{に対する超過収益率} & & \\ & & \text{(過去10年実績から算出)} & & \text{(株式市場全体のリターンを考慮)} & & \end{array}$$

(注1) Blume修正値

(注2) 典拠: Damodaran's Equity Risk Premium (January 2024)

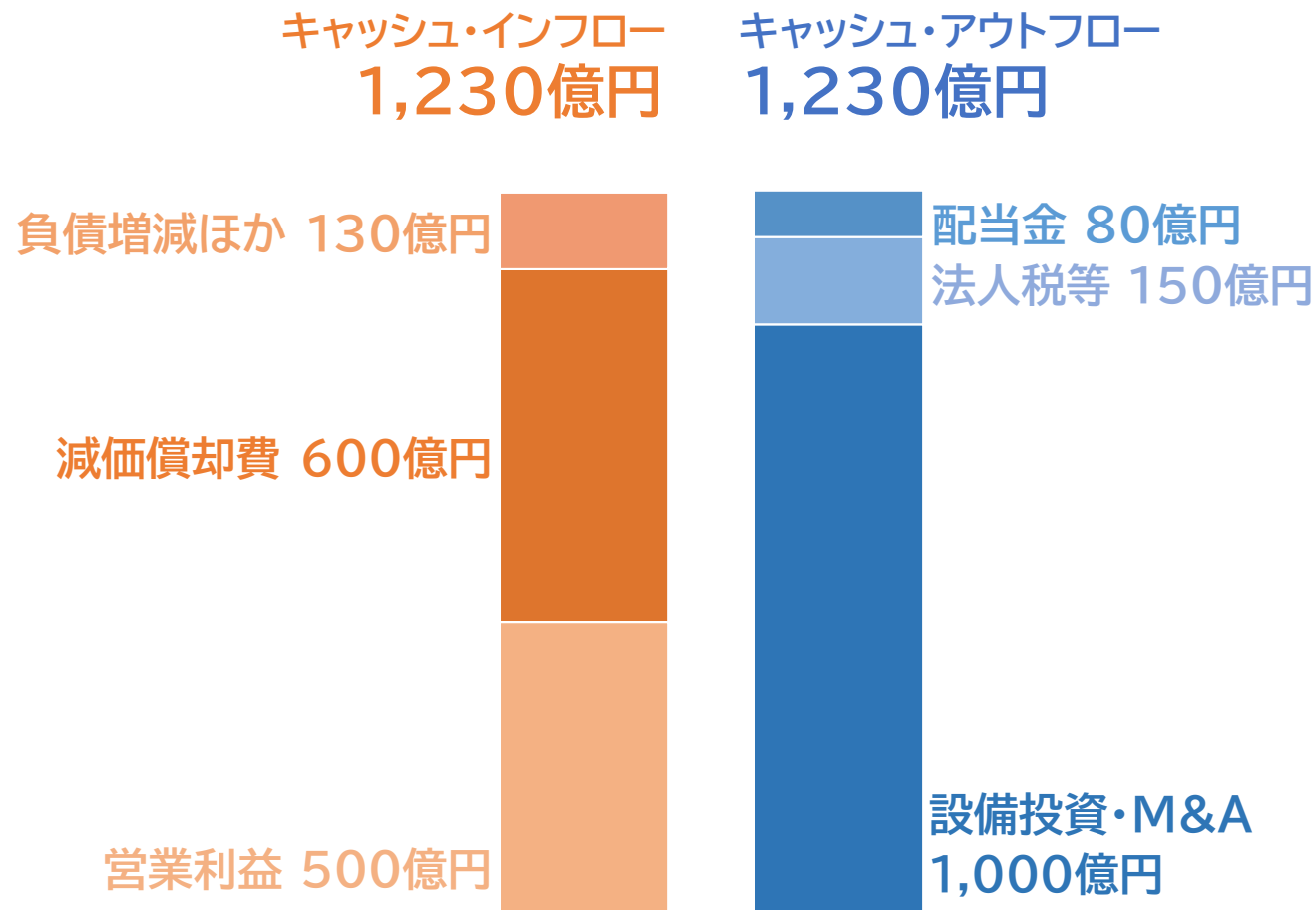
1. キャッシュフロー・アロケーション(25/3期)

1. キャッシュフロー・アロケーション(25/3期)

2. 投資キャッシュフローの内容(25/3期)

3. 資本構成の見通し(25/3期末)

キャッシュ・インフロー／キャッシュ・アウトフローのバランス



2. 投資キャッシュフローの内容(25/3期)

1. キャッシュフロー・アロケーション(25/3期)
2. 投資キャッシュフローの内容(25/3期)
3. 資本構成の見通し(25/3期末)

設備投資・M&A(1,000億円)の内訳



基盤投資(維持・更新等) 60%

- 維持投資
(既存事業における製品の安定供給基盤の充実など)



成長投資 30%

- 投融資、M&Aによる成長投資
(海外事業の拡大、環境配慮製品の推進加速化への取組みなど)



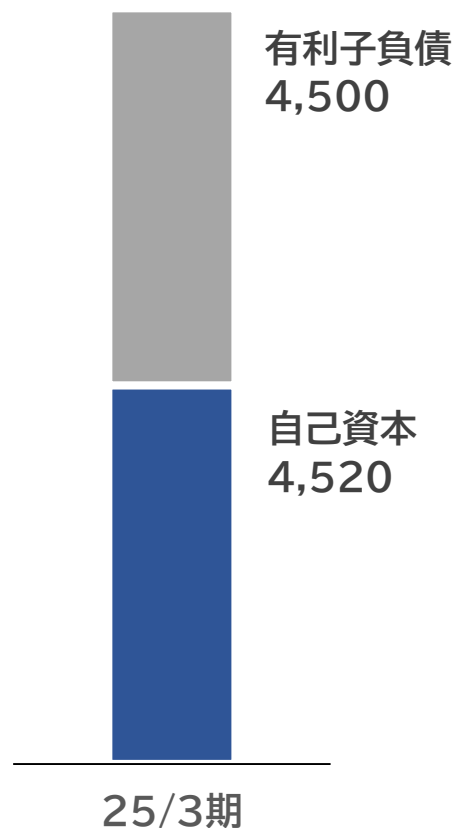
サステナビリティ投資 10%

- エネルギー転換によるGHG排出削減
- 職場環境改善
- DX など

3. 資本構成の見通し(25/3期末)

1. キャッシュフロー・アロケーション(25/3期)
2. 投資キャッシュフローの内容(25/3期)
3. 資本構成の見通し(25/3期末)

投下資本
9,020億円



- 投下資本
自己資本* + 有利子負債 = 9,020億円
*自己資本
= 純資産(4,670億円) - 非支配株主持分(150億円)
- D/Eレシオ
有利子負債 ÷ 自己資本 = 1.00倍

財務規律

D/Eレシオ < 1.5倍
を堅持します。

1. 成長戦略の具体化に向けて

1. 成長戦略の具体化に向けて
2. 配当政策ならびにステークホルダーとの対話の方針

パッケージプロバイダー



“Less is more.”

人本主義(人間中心主義)を経営の柱に据え、全要素生産性の向上により、ヘキサゴン経営のさらなる拡充を図るとともに、“Less is more.”を念頭に様々な社会的課題の解決に取り組み、持続可能なバリューチェーンの確立に向けて取り組んでまいります。

現在、**次期ビジョン**(2026年3月期～2030年3月期)を策定中であり、確定次第、お知らせします。

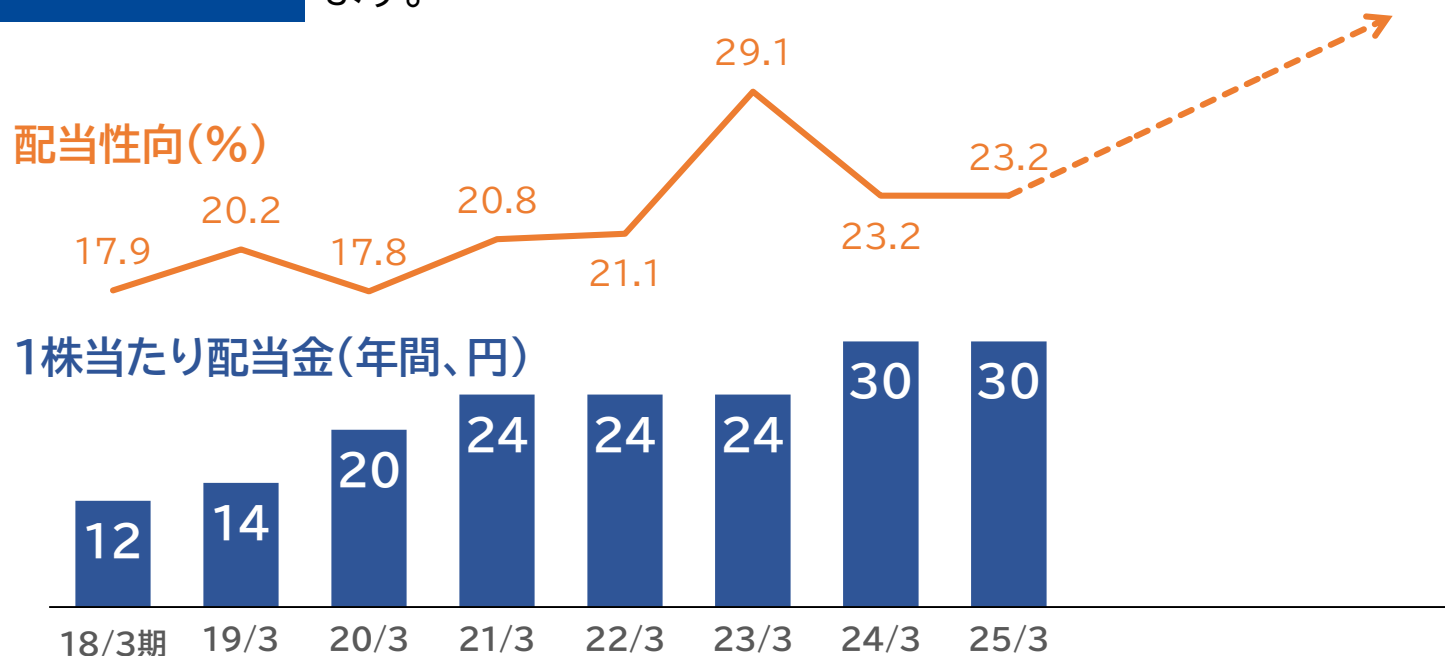
2. 配当政策ならびにステークホルダーとの対話の方針

1. 成長戦略の具体化に向けて
2. 配当政策ならびにステークホルダーとの対話の方針

株主は、会社にとって重要なマルチステークホルダーの一つであると認識しております。

配当政策

業績の動向、財務状況、今後の事業展開等を総合的かつ長期的に勘案して、継続的かつ安定的に配当を行うことを維持しつつ、利益成長にあわせた増配を目指す**累進的な配当政策**を基本とします。



対話の方針

ステークホルダーとの**建設的な対話**を通じ、持続可能な企業価値向上に取り組めます。

レンゴー株式会社

530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー

Tel: 06-4706-9649 / 9683 (財務・IR部 IR課直通)

Email: ir@rengo.co.jp

<https://www.rengo.co.jp>



本資料に含まれる事業戦略や業績予想等に関する内容については、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。
記載された業績予想数値等は、将来の計画に関して実現を保証するものではありません。